



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所 東
 コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松田 智博 (TEL) 048-771-7753
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	91,139	5.7	4,565	18.2	5,124	55.5	2,923	74.2
2020年3月期第2四半期	86,222	8.9	3,863	0.4	3,296	△50.2	1,678	△60.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 3,726百万円(325.1%) 2020年3月期第2四半期 876百万円(△80.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年3月期第2四半期	円 銭 30.24	円 銭 —
2020年3月期第2四半期	17.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	228,526	105,489	45.9
2020年3月期	223,128	102,525	45.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 104,870百万円 2020年3月期 101,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2021年3月期	—	8.00			
2021年3月期(予想)			—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	197,000	9.5	12,500	21.2	13,300	28.3	9,500	62.1	98.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	97,244,472株	2020年3月期	97,244,472株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	571,586株	2020年3月期	587,369株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	96,660,785株	2020年3月期2Q	96,754,149株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に、インバウンド需要の減少や国内外における経済活動の停滞などにより、極めて厳しい状況にあります。足元では緩やかな回復の兆しがあるものの、未だ先行きは不透明な状況にあります。国内の個人消費におきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う失業率の上昇や所得環境の悪化により、消費需要が回復するには一定の時間を要すると考えられます。通信販売業界におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛や接触回避など生活様式が変化した影響により、幅広い顧客層からの需要が高まり、利用拡大が進みました。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続き主力4事業（総合通販事業・専門通販事業・店舗販売事業・プロパティ事業）の強化に取り組んで参りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は91,139百万円（前年同期比5.7%増）となり、営業利益は4,565百万円（同18.2%増）となりました。また、為替相場の変動による損失や資金調達に係る手数料が前年同時期より縮小し、経常利益は5,124百万円（同55.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,923百万円（同74.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

〔総合通販事業〕

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、雑貨類やホームウェアを中心に通販需要が高まった結果、売上高は40,452百万円（同13.8%増）となり、セグメント利益は1,861百万円（同527.7%増）となりました。

〔専門通販事業〕

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、看護師向け通販事業及びグルメ・ワイン事業を中心に好調に推移し、売上高は28,630百万円（同26.1%増）となり、セグメント利益は2,508百万円（同58.1%増）となりました。

〔店舗販売事業〕

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けたディベロッパの方針による営業時間短縮や臨時休業の影響により、売上高は10,237百万円（同34.7%減）となり、セグメント損失は1,586百万円（前年同期は342百万円のセグメント利益）となりました。

〔ソリューション事業〕

通販代行サービス及び封入・同送サービスが共に好調に推移したことに加え、JOBSTUDIO PTE. LTD. を新たに連結グループに加えたことなどにより、売上高は4,966百万円（同31.9%増）となり、セグメント利益は1,332百万円（同8.9%増）となりました。

〔ファイナンス事業〕

国内消費者金融事業の貸付金残高が前年同時期に比べ増加していることにより、売上高は2,323百万円（同9.4%増）となり、セグメント利益は1,281百万円（同54.0%増）となりました。

〔プロパティ事業〕

ホテル事業において、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた行政機関による日本国内における移動制限の影響や外国人の入国規制の影響により、売上高は3,110百万円（同30.1%減）となり、セグメント損失は46百万円（前年同期は300百万円のセグメント利益）となりました。

〔その他の事業〕

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ゴルフ場運営事業、飲食店事業、宿泊予約事業などが苦戦し、売上高は2,077百万円（同15.3%減）となり、セグメント損失は568百万円（前年同期は542百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比2,144百万円増加し、105,827百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,858百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が902百万円、商品及び製品が3,288百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比3,254百万円増加し、122,699百万円となりました。これは主に建設仮勘定が3,500百万円、投資有価証券が1,310百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比5,398百万円増加し、228,526百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比4,572百万円増加し、54,708百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が3,448百万円、未払法人税等が1,384百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比2,137百万円減少し、68,329百万円となりました。これは主に長期借入金が2,226百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比2,435百万円増加し、123,037百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比2,963百万円増加し、105,489百万円となりました。この結果、自己資本比率は45.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、1,879百万円減少し、20,413百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、5,991百万円(前年同期は258百万円の減少)となりました。主な減少要因はたな卸資産の増加2,928百万円などであり、一方で、税金等調整前四半期純利益4,884百万円、減価償却費1,645百万円、仕入債務の増加3,382百万円などが主な増加要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、4,407百万円(前年同期は7,025百万円の減少)となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出4,061百万円などであり、

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、3,508百万円(前年同期は4,425百万円の増加)となりました。主な減少要因は、短期借入金の純減額1,297百万円、長期借入金の返済による支出2,760百万円などであり、

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を考慮し、2020年5月13日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2020年10月29日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,788	20,929
受取手形及び売掛金	9,391	10,293
営業貸付金	27,314	26,929
有価証券	486	409
商品及び製品	20,910	24,199
原材料及び貯蔵品	1,403	1,047
販売用不動産	3,385	3,370
仕掛販売用不動産	8,591	9,201
その他	10,009	10,050
貸倒引当金	△598	△605
流動資産合計	103,683	105,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,183	28,529
機械装置及び運搬具(純額)	7,979	7,739
工具、器具及び備品(純額)	1,770	1,664
土地	43,849	43,825
リース資産(純額)	145	134
建設仮勘定	5,722	9,222
有形固定資産合計	88,651	91,117
無形固定資産		
のれん	2,689	2,327
リース資産	576	706
その他	8,561	8,459
無形固定資産合計	11,827	11,493
投資その他の資産		
投資有価証券	11,094	12,405
長期貸付金	1,763	1,720
破産更生債権等	187	205
繰延税金資産	1,897	1,566
その他	4,677	4,797
貸倒引当金	△653	△606
投資その他の資産合計	18,966	20,088
固定資産合計	119,445	122,699
資産合計	223,128	228,526

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,225	21,673
短期借入金	12,046	11,729
未払費用	10,442	10,969
リース債務	322	279
未払法人税等	1,148	2,533
賞与引当金	742	718
返品調整引当金	71	89
ポイント引当金	480	467
その他	6,655	6,246
流動負債合計	50,135	54,708
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	55,774	53,547
利息返還損失引当金	732	722
リース債務	407	567
退職給付に係る負債	249	253
役員退職慰労引当金	252	249
資産除去債務	1,212	1,178
修繕引当金	5	20
その他	1,833	1,789
固定負債合計	70,467	68,329
負債合計	120,602	123,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,954	10,954
利益剰余金	85,177	87,327
自己株式	△491	△480
株主資本合計	106,253	108,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147	1,234
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	△4,419	△4,701
退職給付に係る調整累計額	△83	△68
その他の包括利益累計額合計	△4,363	△3,543
非支配株主持分	636	618
純資産合計	102,525	105,489
負債純資産合計	223,128	228,526

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	86,222	91,139
売上原価	36,011	37,369
売上総利益	50,210	53,769
返品調整引当金繰延差額	14	17
差引売上総利益	50,195	53,751
販売費及び一般管理費	46,332	49,186
営業利益	3,863	4,565
営業外収益		
受取配当金	127	222
デリバティブ評価益	-	2
助成金収入	3	298
その他	370	337
営業外収益合計	501	860
営業外費用		
支払利息	86	101
為替差損	130	87
デリバティブ評価損	323	-
支払手数料	445	12
減価償却費	9	9
その他	72	88
営業外費用合計	1,069	300
経常利益	3,296	5,124
特別利益		
投資有価証券売却益	16	2
受取和解金	88	-
特別利益合計	105	2
特別損失		
有形固定資産売却損	-	17
固定資産除却損	11	1
減損損失	3	46
有価証券評価損	-	56
投資有価証券評価損	122	74
投資有価証券償還損	12	-
抱合せ株式消滅差損	-	46
特別損失合計	151	242
税金等調整前四半期純利益	3,250	4,884
法人税、住民税及び事業税	1,565	2,107
法人税等調整額	33	△136
法人税等合計	1,598	1,971
四半期純利益	1,651	2,913
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△26	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,678	2,923

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,651	2,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	245	1,086
為替換算調整勘定	△1,032	△288
退職給付に係る調整額	12	14
その他の包括利益合計	△775	813
四半期包括利益	876	3,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	942	3,743
非支配株主に係る四半期包括利益	△65	△17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,250	4,884
減価償却費	1,595	1,645
返品調整引当金の増減額(△は減少)	14	17
減損損失	3	46
のれん償却額	286	342
貸倒引当金の増減額(△は減少)	27	△30
賞与引当金の増減額(△は減少)	12	△23
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△28	25
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6	△3
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△80	△13
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	65	△10
修繕引当金の増減額(△は減少)	-	14
受取利息及び受取配当金	△185	△260
支払利息	86	101
デリバティブ評価損益(△は益)	323	△2
投資有価証券売却損益(△は益)	△16	△2
投資有価証券評価損益(△は益)	122	74
投資有価証券償還損益(△は益)	12	-
為替差損益(△は益)	195	56
固定資産除却損	11	1
売上債権の増減額(△は増加)	△805	△904
営業貸付金の増減額(△は増加)	△1,758	365
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,295	△2,928
販売用不動産の増減額(△は増加)	△902	△675
その他の流動資産の増減額(△は増加)	391	107
仕入債務の増減額(△は減少)	1,701	3,382
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,367	741
その他の固定負債の増減額(△は減少)	12	△41
その他	△6	△208
小計	1,663	6,705
利息及び配当金の受取額	184	308
利息の支払額	△87	△98
法人税等の還付額	14	39
法人税等の支払額	△2,032	△962
営業活動によるキャッシュ・フロー	△258	5,991

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△645	△674
定期預金の払戻による収入	821	667
有価証券の取得による支出	△195	-
有価証券の売却による収入	685	75
有形固定資産の取得による支出	△6,634	△4,061
有形固定資産の売却による収入	0	3
無形固定資産の取得による支出	△424	△201
投資有価証券の取得による支出	△1,279	△146
投資有価証券の売却による収入	1,211	133
子会社株式の取得による支出	△549	-
貸付けによる支出	-	△50
貸付金の回収による収入	10	58
差入保証金の差入による支出	△95	△173
差入保証金の回収による収入	72	51
その他の支出	△6	△101
その他の収入	4	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,025	△4,407
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,150	△1,297
長期借入れによる収入	6,617	1,521
長期借入金の返済による支出	△3,014	△2,760
自己株式の取得による支出	△333	△0
配当金の支払額	△727	△773
リース債務の返済による支出	△267	△198
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,425	△3,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	△200	41
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,057	△1,882
現金及び現金同等物の期首残高	21,351	22,292
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	3
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,293	20,413

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	35,338	22,628	15,666	3,676	2,124	4,403	2,383	—	86,222
セグメント間の内部 売上高又は振替高	197	68	—	88	—	49	70	△472	—
計	35,535	22,697	15,666	3,764	2,124	4,452	2,453	△472	86,222
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	296	1,586	342	1,224	832	300	△542	△177	3,863

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳109百万とのれん償却費△286百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	40,032	28,588	10,237	4,871	2,323	3,056	2,028	—	91,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	419	41	—	95	—	54	48	△659	—
計	40,452	28,630	10,237	4,966	2,323	3,110	2,077	△659	91,139
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	1,861	2,508	△1,586	1,332	1,281	△46	△568	△218	4,565

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳124百万とのれん償却費△342百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。